

令和6年度札幌市アイヌ施策について



アイヌ文化交流センター
展示室



アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）
シンボルオブジェ

札幌市

令和6年度アイヌ施策推進費の概要

【アイヌ施策推進費】

(単位：千円)

	R5年度	R6年度	増減 (R6-R5)
予算総額	234,841	292,726	57,885
▶うちアイヌ政策推進交付金対象事業費	97,834	113,142	15,308
▶交付金の額 (対象事業費の8/10)	78,267	90,513	12,246

施策目標 1 : アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策 1 : アイヌ文化の継承と人材育成

予算額 : 5,010千円 (R5年度 : 3,952千円)

① アイヌ文化の保存・継承・振興活動等への補助

札幌アイヌ協会が実施するアイヌ民族の交流を促進する活動やアイヌの子弟に対する学習支援活動、アイヌ民族の現状や人権等に関する講演の開催、アイヌ文化に関する啓発活動などの事業に対する補助を行う。

② インカルシペ・アイヌ民族文化祭開催の支援

札幌アイヌ協会が開催するアイヌ民族の文化や歴史を発信する事業、アイヌ民族の若者による会員相互の交流・アイヌ文化伝承に関する事業、アイヌ民族の音楽文化を普及啓発する事業に対する補助を行う。

③ アイヌ文化体験講座（担い手育成）の実施

アイヌ文化の保存・継承・振興に係る活動への意欲喚起や意欲向上を目的とした講座を開催する。

④ 高齢者（エカシ・フチ）の歴史体験記録

アイヌの高齢者「エカシ」「フチ」が有する知識・経験を記録として整理し、アイヌ民族の文化伝承活動に活用する。

施策目標 1 : アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策 2 : アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生
予算額 : 4,446千円（R5年度 : 4,451千円）

① イオル再生事業の実施

伝統文化活動に必要な穀物などの自然素材を育成するとともに、市民を対象とする自然素材を活用したアイヌ文化の体験交流講座等を開催し、事業に参加することなどによる人材の育成を図る。

② 国有林野における林産物採取

国有林野において、アイヌ文化の保存・継承・振興のために使用する林産物を採取できる体制を確保する。



アイヌの民具づくり体験
アットウシを用いたコースター



アイヌの伝統料理
調理体験



アイヌの子ども遊び体験
弓矢づくり

施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策 1 : アイヌ民族に関する啓発活動の推進

予算額 : 23,442千円 (R5年度 : 23,039千円)

① アイヌ文化体験講座（市民向け）の実施

アイヌ文化交流センターや区民センター等で、アイヌ文様刺しゅうや木彫りなど、市民を対象としたアイヌ伝統文化の体験講座を開催することにより、アイヌ文化への理解を促進する。

② 大型イベントと連携した情報発信

大通公園などで開催される大型イベントにおいて、アイヌ民族の伝統楽器の演奏や歌、踊りなどを披露する機会をつくる。

③ アイヌアートモニュメントの制作・展示

市民と作家が共同で制作した作品や作家が制作した作品を、市内の公共空間などにおいて展示する。

④ アイヌ文化を発信する空間の管理運営

アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）の管理運営を行い、展示物や映像コンテンツの入れ替えなどを行いながら、継続的にアイヌ文化への理解の促進を図る。

施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策 2 : アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

予算額 : 30,382千円 (R5年度 : 27,067千円)

① 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説などを実施する。

また、アイヌ文化交流センターに来館するための送迎バスを用意する。

② 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターへの来館が困難な学校に出向き、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験などを実施する。

③ 課長職への研修の実施

札幌市の新任課長等を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現在置かれている状況、国の動向や人権などに関する研修を実施する。

④ 新採用職員への研修の実施

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化、人権などに関する基礎研修を実施する。(主催 : 総務局自治研修センター)

⑤ 民族教育の充実(ムックリ体験等)

アイヌ民族の歴史・文化などへの興味・関心を高めるために、団体体験プログラムなどにおける伝統楽器「ムックリ(口琴)」の体験機会の提供や「トンコリ(五弦琴)」の学校への貸出を行う。

施策目標 3 : 体験・交流の促進

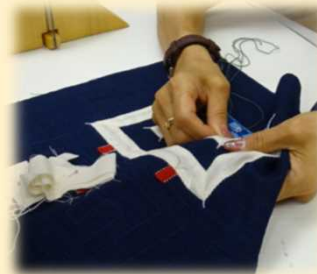
推進施策 1 : 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

予算額 : 117,591千円 (R5年度 : 94,514千円)

① アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興、市民との交流等を促進するため、アイヌ文化交流センターで以下の事業を行う。(一部再掲)

- ・アイヌ文化体験講座
- ・アイヌ文化交流センターイベント
- ・アイヌ民族古式舞踊(輪踊り)
- ・小中高校生団体体験プログラム
- ・アイヌ文化体験コーナー 等



アイヌ文化体験講座
刺しゅう



アイヌ文化体験講座
木彫り

② アイヌ文化交流センター機能の充実

展示室等の映像ガイダンスシステムや交流ホールの音響システムなどを更新する。

③ アイヌ文化交流センター庭園リニューアル

外来の植物を除去し、アイヌゆかりの植物を植える。令和6年度は調査・計画、令和7~9年度に施工する。

④ アイヌ文化交流センター送迎バス

地下鉄真駒内駅とアイヌ文化交流センターを往復する送迎バスを運行する(試験運行)。



小中高校生団体体験
プログラム

施策目標 3 : 体験・交流の促進

推進施策 2 : アイヌ文化の体験・交流の機会創出
予算額 : 1,689千円 (R5年度 : 1,689千円)

① アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、製作体験、子ども遊びやアイヌ料理試食等を実施する。



② アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、6月の儀式（サッポロピリカコタンノミ）終了後、来館者を対象としたアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）体験を実施する。



アイヌ文化交流センターイベント

施策目標 4 : 産業等の振興

推進施策 1 : アイヌ文化のブランド化の推進

予算額 : 27,211千円 (R5年度 : 17,499千円)

① 工芸品等の常設販売店 (アイヌ文化PRコーナー内) の設置

アイヌ文化PRコーナーを地下鉄大通駅コンコース横に移設し、工芸品の常設販売コーナーを併設する(令和6年10月開設予定)。市民や観光客がアイヌ工芸品に触れ、その魅力を体験できる場とするとともに、販売機会を確保する。

② アイヌ文化のブランド化推進

伝統的なアイヌ工芸品等のブランド化推進やマーケティング強化の取組として、①の販売会を通じて消費者のニーズや効果的な工芸品の商品化に向けた分析を行うほか、これまでに制作したPR映像を活用したプロモーション活動などを行う。



工芸品の定期販売会

施策目標 4 : 産業等の振興

推進施策 2 : アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進
予算額 : 7,114千円 (R5年度 : 5,683千円)

ウポポイ (民族共生象徴空間) や市内関係施設等を活用したアイヌ文化の発信
アイヌ文化に関する理解の促進を図るため、民族共生象徴空間 (ウポポイ) やアイヌ文化交流センターなどを巡るバスツアーを実施する。



ウポポイ (民族共生象徴空間)

施策目標 5 : 生活関連施策の推進

推進施策 1 : 生活環境等の整備

予算額 : 50,572千円 (R5年度 : 47,572千円)

① 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修や宅地取得に必要な資金貸付を行う。

② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置

アイヌ生活相談員を2名配置し、様々な相談に対応する（アイヌ文化交流センターに1名、共同利用館に1名配置）。

アイヌ教育相談員を1名配置し、教育に関する相談に対応する（教育委員会がアイヌ文化交流センターに配置）。

③ アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

夏休み・冬休み期間に、アイヌ民族の児童・生徒に対する学習支援を行う。

④ 札幌市共同利用館後継施設検討事業

老朽化が進んでいる共同利用館の後継施設の整備について検討する。

その他の予算 予算額：25,269千円（R5年度：9,375千円）

[主な項目]

事務費（職員人件費・備品購入費）、大通交流拠点地下広場（アイヌ文化PRコーナー移設予定地等）の維持管理費、共同利用館の運営費、アイヌ施策推進委員会開催に係る諸経費、アイヌ住宅貸付関連経費 など